

なべしま新聞



発行者 鍋島一博

私が十八才の頃一昭和四十七年当時一お酒の自動販売機が近所の酒屋さんに設置されました。大人達がうれしそうに飲むビールという飲み物が、自動販売機で自由に買えることになったのです。大つぴらには言えないのですが、深夜、親には受験勉強をしているそぶりを見せて、家族全員、(もちろん私を除いた)が寝静まると、自動販売機にまっしぐら。たったの一本、缶ビールを買いにいきました。ビールの値段は、確か百六十円位だったと記憶します。一枚硬貨を入れるたびに、人に見つかつたら大変だとドキドキしました。高校三年生がアルコールを飲むなんて、とんでもないことだと思いつつ、それでも好奇心には勝てません。買って来た缶ビールに口を近づけ、少しずつ飲みました。苦いけど美味しい、これがビールか、意外と酔わないぞ、などと一先ず納得したのでした。

昭和六十三年四月一日、仕事帰り、ビールを買うため酒屋さんに寄りました。ご主人が「本日新発売のビールどう？」と言われたので、「イイツスよ」と気軽に答えました。ところが勧められたのはアサヒビール。それまで某大手麦酒しか飲まなかったもので、シマッタと思いました。うなずいた手前、無碍には断れず一本だけ買いました。家に帰り、初めて口にしたビールの味にびっくり。なんてコクがあつて旨いのだろう、それにスッキリしている。何かの間違ひじゃないだろうか?と思ひ、次の日は三本買って飲みました。初めの口当たりが最後の一杯まで続く、旨みが舌から咽喉、胃袋まで通る、こんなビール初めてだ、と思つた瞬間、房大手麦酒からアサヒに鞍替えしました。これがスーパードライとの出会いでした。

この日を境に、私はアサヒの回し者になりました。その頃、アサヒビールを扱わない酒屋もあり、飲み屋ではほとんどが某大手でした。酒屋にアサヒを取り扱って欲しいと頼んで断られたり、友人と飲みに行った居酒屋でスーパードライを置いてくれなければもう飲みに来ないと言つてヒンシュクを買つたりしました。西相信金の店頭で、父の日イベントとして、『お父さんガンバッテ!カード』を入れ綺麗に包装したスーパードライを、三百本カウンターに積み上げ、一本一本来店客に配つたのです。これを写真に撮り、一年余りに及ぶスーパードライにまつわる体験を手紙に書いて、アサヒビール社長に送りました。手紙の末尾には、スーパードライが、近い将来日本一になることを確信していると書きました。

何日かして、アサヒビール静岡支社長と営業部長がスーパードライ缶四ケースを担いで、突然私を訪ねて来たのです。「全国の支社と工場にファックスされたあなたの手紙を読んで勇気づけられました。すぐにご挨拶に行かなければと・・・」との話にびっくり。当時のアサヒビールは、スーパードライがヒットしたとは言つても、まだまだ一〇数パーセントのシェアしかありませんでした。某大手麦酒会社には、とても太刀打ち出来るような会社ではなかったのです。二、三年前、スーパードライはシェア日本一となり、今年はビール、発泡酒全体でアサヒがシェアNo.1を奪回しました。

思えば十八才の頃、親に隠れて飲んだビールのお陰で、こんな嬉しい出来事に出会えたのでしょうか。

なべしま新聞 発行者 鍋島一博

湯河原町中央区2-18-26 郵便番号 259-0301

電話番号 0465-62-5367 携帯 090-7633-2740

E-mail kaznabeshima@aol.com

【勤務先】東京海上火災保険株式会社 小田原支社

小田原市栄町1-8-1 〒250-0011

電話 0465(23)1281

【仕事内容】・経営相談・財務・営業推進・人材教育・組織改革・リスク管理

・お客様の人生設計に合わせた資産形成+夢の実現のお手伝い、財産・身体
のリスク(危険)回避、不測の事態への備えとしてのプラン作成提案。

・お客様が疑問に思っていること、困っていること、何でもご相談に乗っています。どうぞお気軽に声をかけてください。

【取得資格】

・宅地建物取引主任者・銀行検定 財務2級 法務2級 税務3級

・全信協上級実務試験 証券外務員・全国空手道二段 中高校教員免許状



“リカー&コンビニエンス”

いしわ

- ☆ ワインから駄菓子まで取りそろえている熱海の酒屋さんといえば、石和酒店さんです。清潔で綺麗な店内には、数々の品物が整然と陳列されています。
- ☆ 社長さん初め店員さんたちは、皆さんとても気持ちの良い対応です。スーパードライを買いに行くたびに、いつも元気をいただいて、帰ることができます。
- ☆ 皆さんも、熱海に行かれる節は、ぜひ立ち寄って見てはいかがでしょうか。

■ 熱海市昭和町17-13

電話 0557-81-2313

